

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月18日更新

事務事業名		畜産振興事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	事業部	課長名	岐部則夫
	施策	11	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	村上 淳二
	基本事業	33	経営力の強化・生産品の価格安定			所属班	農政班	(内線)	1175
予算科目		会計一般	款6	項1	目11	事業連番	11499	法令根拠	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	畜産農家への事業費の補助、中学校給食用牛乳増量に対する補助、畜産統計、経営研修などの自主的な活動費用を助成している。畜産農業振興のため畜産農家への負担が軽減されている。
【業務の流れ】	事業費の補助金支払事務、経営研修引率、畜産統計委託事務
【主な予算費目】	需用費、委託料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
①手段(主な活動)26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
畜産農家への事業費の補助、畜産統計、経営研修などの自主的な活動を助成。	畜産農家への事業費の補助、畜産統計、経営研修などの自主的な活動を助成。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ア 実施事業数	件 中学校給食用牛乳の単価及び本数の増に伴う補助金額の増額
→イ	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
畜産振興協議会、中学生徒、畜産農家	(単位) ア 畜産農家数
	→イ 戸
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
畜産農家の情報交換や交流の場を設定してもらう。	(単位) ア 協議会の活動件数(有効な会合、イベントなど)
	→イ 件
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠	
畜産農家の情報交換や交流の場を設定してもらうことで畜産振興に繋がるため、成果指標を「協議会の活動件数(有効な会合、イベントなど)」とした。目標値については、24年度実績65件に基づき65件と設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込
①	活動指標	ア 件	5	5	5	5	5	5	5	5
		イ								
②	対象指標	ア 戸	130	124	125	120	120	120	120	120
		イ								
③	成果指標	ア 件	65	65	65	65	65	65	65	65
		イ								
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	2,109	2,313	2,317	2,560	2,666	2,770	2,770
	(A)事業費計	千円	2,109	2,313	2,317	2,560	2,666	2,770	2,770	2,770
	(A)のうち指定経費	千円	60	64	65	71	81	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	25	29	30	36	46	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	7	6	6	5	6	6	6
	延べ業務時間	時間	1,828	1,470	1,900	985	1,900	1,900	1,900	
	(B)人件費計	千円	7,441	5,856	7,569	3,924	7,569	7,569	7,569	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	9,550	8,169	9,886	6,484	10,235	10,339	10,339	

事務事業名	畜産振興事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	--------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 部会等の活動が例年通り行われた。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 引き続き、本事業によって、部会活動支援などの畜産振興を図ることで達成できる。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 本事業によって、適正な畜産振興が図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似の目的を持つ事務事業は他にない	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 畜産農家の自主的な活動に頼っている状況にあり、これを削減するのは、直接畜産振興の後退することになりかねない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 本事業への職員の対応を少なくすることは難しい。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 畜産農家の活動内容により対象が一般市民まで広く受益機会がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 市としての役割は適正である。関係団体との連携が必要。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

畜産業を取り巻く環境(家畜伝染病、悪臭苦情、経営環境の変化など)に対応しながら、事業を進めることが重要である。国内において、鳥インフルエンザなどの重大な家畜伝染病の発生リスクが高まっているため、関係団体との連携などにより対策を強化する必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						